

AeyeSecurityLab

オフライン  
開催

触って試して専門家に相談できる！

手動  
診断体験  
あり

# 脆弱性診断ツール 比較・体験セミナー



2026. ~~2.20~~ 金 ~~15:30-17:00~~ 済

3.6 金 15:30-17:00

参加  
無料

会場：神田スクエア

導入後に後悔しない

# 脆弱性診断 ツール選び

— 現場が回る運用を実現する評価ポイント —



脆弱性診断ツールを検討するにあたり、  
こんなお悩みはありませんか？

まずは無料のものから  
使ってみるべき？

どれが自分たちの  
ニーズを満たしている？

正直、どれも同じに  
見える...



どの脆弱性診断ツールを選べばいいんだろう...？

# なぜ脆弱性診断ツールの選定は難しいの？



多様な  
診断ツールが存在

数多くのツールがあるが、  
専門性が高いため  
違いを理解しづらい



自社のニーズとの  
合致が重要

他社にとっての正解が  
自社にとっての正解に  
なるとは限らない



運用を見据えた  
選定が必要

せっかく導入しても、  
運用に負荷がかかると  
導入効果は損なわれる

# 脆弱性診断ツール選定時によく検討されるポイント

## コスト

ツールの導入や  
維持にかかる  
費用はいくらか

## 操作性 (工数)

設定からスキャン実施、  
レポート出力までの  
所要時間はどのくらいか

## 診断項目

診断したい項目は  
網羅されているか

## 精度 (誤検知の少なさ)

適切な診断結果を、  
安定して得られるか

最近では無料ツールも登場しており、導入を検討したことがある方もいるのでは...？

# コストを抑えて導入しても、実際に運用するといくつかの課題が…

## コスト優先でツールを導入した際に起こりがちな課題



コスト



操作性  
(工数)

- ・ 設定や準備に時間がかかる
- ・ レポートに手間がかかる



診断項目

ガイドラインに準拠するため  
ツールごとの差は少ないが、  
自社の基準を満たしているか  
確認が必要



精度  
(誤検知の少なさ)

- ・ 過検知や誤検知が発生
- ・ 重複巡回が発生

最も注目したいのは「操作性(工数)」と「精度(誤検知の少なさ)」

# 操作性（工数）における課題

## 導入

- 操作する人それぞれにツール習得の時間がかかる



## 設定準備

- テストシナリオの作成に時間がかかる
- パラメータやセッションの引き継ぎに時間がかかる



## スキャン

- 重複巡回が発生することで、スキャンに時間がかかる



## レポート

- 開発者向けのレポート作成や経営者に報告するサマリ作成に工数がかかる



自動化で業務効率化を図るはずが  
運用工数を含めると、コスト削減できていないケースも

つまり

コストを抑えて導入しても  
操作性(工数)と精度を軽視すると  
運用コストが膨らんでしまう

# 脆弱性診断ツールを選ぶ際に、検討すべき観点は4つ

価格だけでなく、操作性と精度を含めた運用コスト全体でツールを評価することが大切です。

コスト(ツール価格)

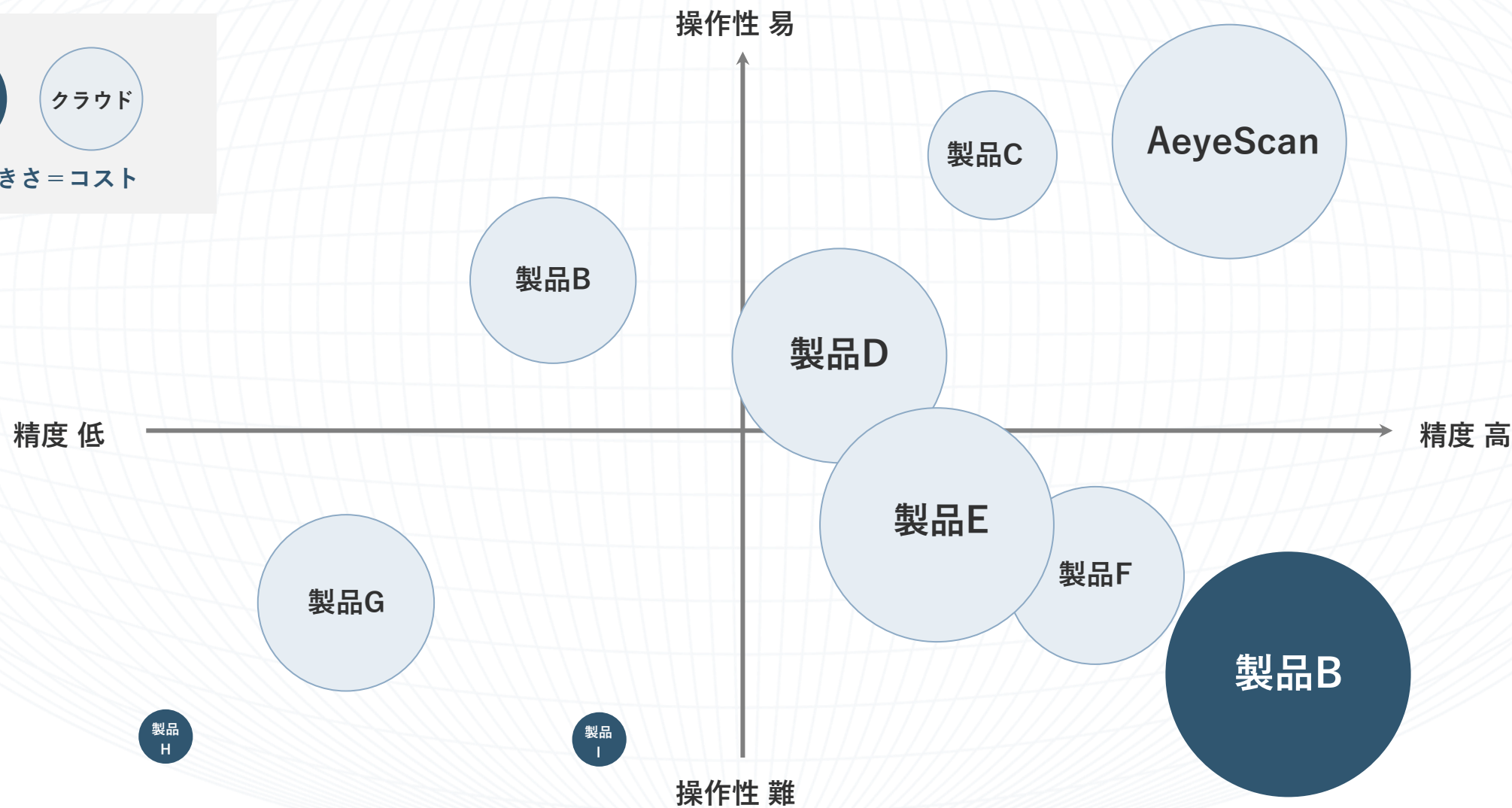
操作性(工数)

診断項目

精度(誤検知の少なさ)

脆弱性診断ツールは、これらの観点で総合的にチェックしてみてください

# ツール分布



## | 製品B

手動診断にも利用される高精度エンジン。専門知識が求められる上級者向け

- 利用形態：オンプレミス
- 操作性（工数）：操作に専門知識が必要で、設定工数が多い
- 診断項目：「OWASP TOP10」「IPA 安全なウェブサイトの作り方」
- 巡回：自動・手動の両方で実施可能だが、手動がメイン  
（上級者による操作を前提としており、自動はあまり使われていない）
- レポート：WordやExcelなど各種ドキュメント形式に対応。検出結果とガイドラインは紐づけられておらず、自分で読み解く必要がある。
- 費用：年間ライセンス費用のほか、講習料が必要

## | 製品C

洗練されたGUIで操作性は高いが、一部でJavaScriptやSeleniumの知識が必要

- 利用形態：クラウド
- 操作性（工数）：直感的なUIで、最小限の操作で診断を開始できる
- 診断項目：「OWASP TOP10」「IPA 安全なウェブサイトの作り方※」  
（※全て網羅はしておらず、5割程度のカバー率）
- 巡回：自動・手動の両方で実施可能だが自動がメイン  
（手動の場合、プラグインのインストールが必要）
- レポート：PDF出力。検出結果とガイドラインは紐づけられておらず、独自の解説・対策方法を記載。
- 費用：ドメイン数単位での月額ライセンス費用

## | 製品H

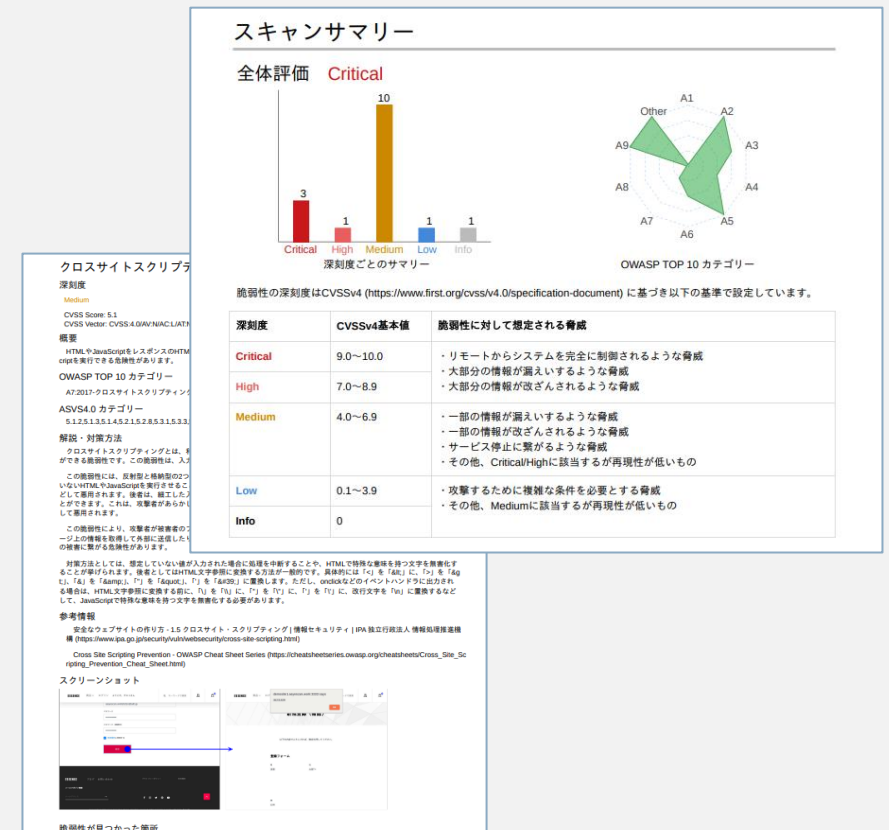
オープンソースで誰でも入手可能。ただし、運用には専門的なセキュリティ知識が必要

- 利用形態：オンプレミス
- 操作性（工数）：操作に専門知識が必要で、設定工数が多い
- 診断項目：「OWASP TOP10」（ただし適切なプラグインを自分で選択してインストールする必要あり）
- 巡回：自動・手動の両方で実施可能
- レポート：HTML形式のみでの出力。検出結果とガイドラインは紐づけられておらず、自分で読み解く必要がある。
- 費用：無料

# | AeyeScan

AI活用により高精度と自動化を両立。誰でも簡単に高度な脆弱性診断を実現できる

- 利用形態：SaaS
- 操作性（工数）：直感的なUIで、設定工数は少ない
- 診断項目：
  - ・「OWASP TOP10」
  - ・「OWASP ASVS」
  - ・「IPA 安全なウェブサイトの作り方」
- 巡回：自動・手動の両方で実施可能
- レポート：PDFだけでなくWordやExcelなど各種ドキュメント形式に対応。検出結果とガイドラインが紐づけられており、ガイドライン準拠状況も明確。
- 費用：年間ライセンス費用



～AeyeScan導入による効果～

## 診断に要する時間・対応工数の圧倒的削減 –内製化ツールの比較–

	AeyeScan	製品B	製品C	製品H
特徴	AI+RPAの技術を用いることで誰でも簡単な設定で診断を開始できる自動診断ツール。 業界問わず様々な企業に導入実績あり。	セキュリティエンジニア向け HTTP通信の深い理解が必要。	直観的な操作で誰でも簡単に 診断が可能。	セキュリティエンジニア向け HTTP通信の深い理解が必要。
利用形態	クラウド	オンプレミス	クラウド	オンプレミス
診断までの工数	○ 直観的な操作で、URLを登録するだけで開始できる	△ プラグインインストールなど、 事前準備に工数がかかる	○ 直観的な操作のみで診断を 開始できる	△ プラグインインストールなど、 事前準備に工数がかかる
ネットワーク診断	○ ポートスキャン/暗号スイートの問題/ バナー調査 等	×	△ ポートスキャンのみ対応	△ 追加でアドオンを導入する 必要あり
自動巡回機能	○ キャプチャ込みで巡回範囲の確認が可能	△	△	×
サイトの入力 フォーム	○ AI+RPAによりフォームの自動入力	△	△	×
手動巡回機能	○ リモートブラウザ上で、直観的な操作	△ NW変更が必要	△ プラグインのインストールが 必要	△ ローカルプロキシとして 動作させる
診断項目	○ ・ OWASP TOP10/IPA 安全なWebサイトの作り方 /OWASP ASVS ・ その他、ホームページ向けの診断項目に対応 (WordPress、jQuery、リンク切れ検出、証明書の問題)	△ IPAなど日本のガイドラインの 対応は無し	△ ガイドライン未対応	△ IPAなど日本のガイドラインの 対応は無し
レポート	○ ガイドラインの項目に沿ったレポート	△ ガイドライン対応状況非公開	△ 独自の解説、対策方法	×HTML形式のみでの出力

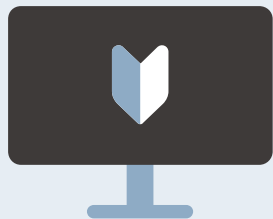
# ツール導入ではなく、運用がうまく回ることが重要

Webサイト数が多かったり、専任担当を置けない場合、**現場で負担なく使えるツール**がオススメ

## 脆弱性診断ツールの導入

セキュリティエンジニアに頼らず現場で実施する場合、ツール選定に必要なポイントは...

1 誰でも使える操作性



2 利用範囲に制限がない



3 結果がわかりやすい



AIを活用した脆弱性診断ツール **AeyeScan** ならお役に立てます

# AeyeScanにご興味をお持ちいただいた方へ、 トライアルをご用意しています

## トライアルとは？

「AeyeScanで自社のWebサイトを適切に診断できそうか」を検証いただくための取り組みです。

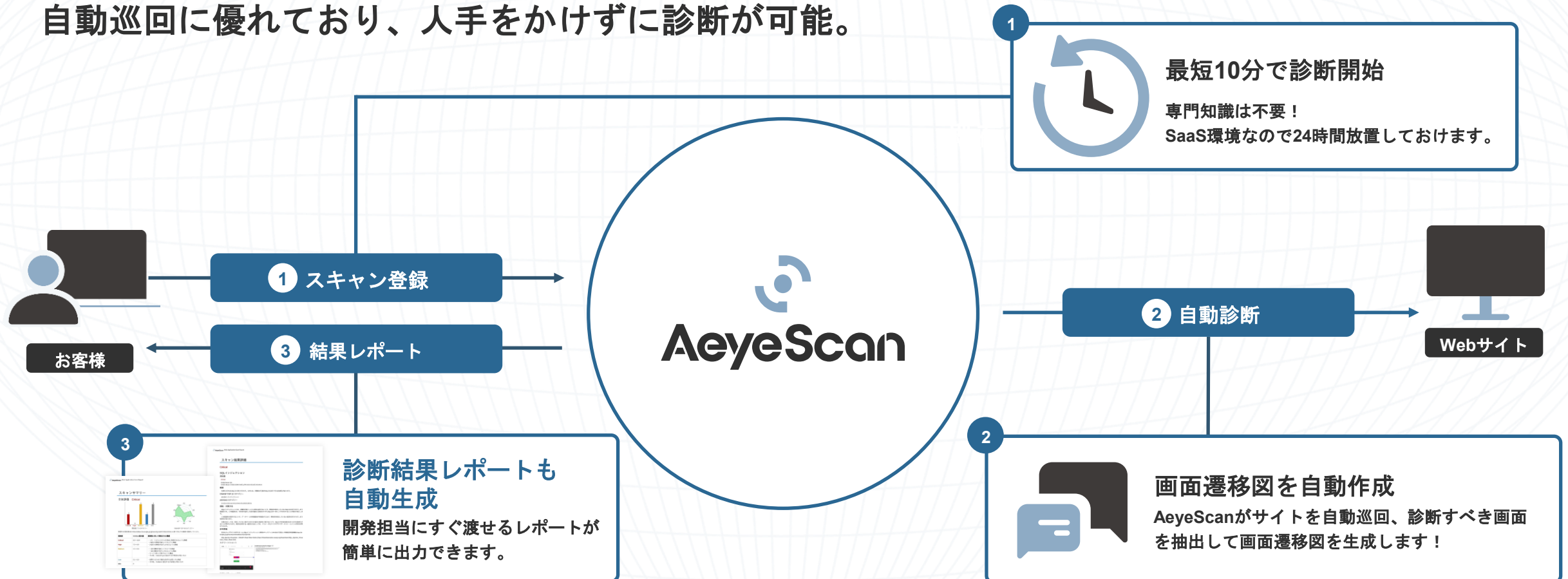
- 自動化したい箇所がうまく診断できず、導入後すぐに診断が開始できないケースがございます。  
→検討初期段階であっても、まずはトライアルをお試しいただくことを推奨しています。
- トライアルでは、操作支援などのサポートも行います。
- トライアル開始に必要なのは以下の3点のみ。お気軽にお申し込みください！
  - ・ 検証するサイトの選定
  - ・ 問診表のご一読と社内周知
  - ・ AeyeScanのIPアドレス許可設定

トライアルはこちらから



# AeyeScanとは？

AI・RPAの活用により、脆弱性診断を自動化するクラウド型Webアプリケーション診断ツール。  
自動巡回にも優れており、人手をかけずに診断が可能。



 **AeyeScan** (エーアイスキャン) により  
セキュリティ対策にかかる **コストを削減!**



クラウド型Webアプリケーション  
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

**No.1**※



有償契約  
300社以上

※富士キメラ総研調べ「2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」Webアプリケーション脆弱性検査ツール ベンダーシェア (2024年度実績)  
※ITR調べ「ITR Market View : サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型Webアプリケーション脆弱性管理市場: ベンダー別売上金額シェア (2023年度実績)

プロが認める品質・精度

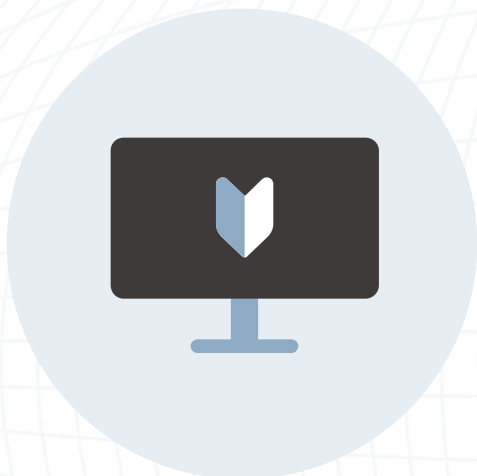
セキュリティベンダーやSIerでも  
顧客向けサービスとして活用



ブラウザ上での直感的な操作

専任エンジニア不要、情シスや開発部門でも  
安定した運用が可能

# AeyeScanが選ばれている理由



## 誰でもかんたん操作



開発やセキュリティの知識がなくても、  
トレーニングなしで診断可能。



## AIによる自動診断



圧倒的な巡回精度で  
24時間自動で診断。  
画面遷移図で状況を可視化。



## わかりやすいレポート



各種ガイドラインに準拠した  
プロ仕様のレポート出力、  
日本語と英語に対応。

# さまざまな企業さまに導入いただいております

## ユーザー企業

### 人材・教育



workport

### メディア



### インフラ



### 製造



### SaaS



### 金融



### エンタメ



## SI・IT企業



## セキュリティ企業



定期開催中！

## AeyeScanがよく分かるデモ動画・セミナー

AeyeScanを  
検討してみたい方へ

AeyeScanがどんなものか知りたい方向けに、  
デモを交えてわかりやすくご紹介。  
まずは気軽に使い勝手をチェック！

AeyeScanデモ動画を視聴

AeyeScanの操作を  
体験してみたい方へ

実際の操作を通して、一連の機能を体感。  
導入前の不安や疑問をまるごと解消。  
“わからないまま”をなくすセミナーです。

ハンズオンセミナーの日程を確認

セキュリティ対策に  
お悩みの方へ

最新の事例や対策ノウハウをテーマ別に紹介。  
月替わりで学べる無料ウェビナーを開催中。  
お気軽にご視聴いただけます！

ウェビナーの日程を確認



# AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

## AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？  
またどのように脆弱性が発見されるのか？  
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

## AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は  
お問い合わせフォームよりご連絡ください。  
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム





**AeyeScan**

セキュリティに、確かな答えを。